

1. 略歴

- 1992年3月 東京大学文学部イスラム学専修課程卒業
- 1992年4月 東京大学大学院人文科学研究科イスラム学修士課程入学
- 1994年3月 同修了
- 1994年4月 東京大学大学院人文科学研究科イスラム学博士課程進学
- 1998年3月 博士（文学）の学位取得
- 1998年4月 東京大学東洋文化研究所研究機関研究員（2000年3月まで）
- 2000年4月 日本学術振興会特別研究員（PD）（2003年3月まで）
- 2004年4月 神田外語大学外国語学部専任講師
- 2008年4月 神田外語大学外国語学部准教授
- 2013年4月 東京大学大学院人文社会系研究科准教授

2. 主な研究活動

a 専門分野

シーア派思想史

b 研究課題

9世紀以降のシーア派思想史における「極端派」思想と十二イマーム派、イスマーイーール派の形成過程との関係について研究している。

c 概要と自己評価

主流シーア派の自己形成、およびそれに呼応する形で成立したアラウィー派、ドゥルーズ派の初期思想について研究し、その成果を二つの共著論文と三度の口頭発表で公開することができた。研究はおおむね順調に進んでいる。

d 主要業績

(1) 著書

共著、近藤洋平(編)、『中東の思想と社会を読み解く』、東京大学中東地域研究センター スルタン・カブース・グローバル中東研究講座、2014.8

共著、塩尻和子(編著)、『変革期イスラーム社会の宗教と紛争』、明石書店、2016.3

(2) 書評

“Omar Ali-de-Unzaga (ed.), *Fortresses of the Intellect: Ismaili and other Islamic Studies in Honour of Farhad Daftary*, I. B. Tauris”, *Journal of Shi'a Islamic Studies*, 7-3, 361-365 頁、2014.11

(3) 学会発表

国内、菊地達也、「「媒介者」としてのシーア派イマーム」、第61回宗教史研究会、東洋英和女学院大学大学院、2015.6.13

国内、菊地達也、「イスラム教シーア派の起源」、宗教間対話研究所第97回月例研究会、東京グランドホテル、2015.11.27

国内、菊地達也、「11世紀ドゥルーズ派の集団移動：エジプトからシリアへ」、東京大学中東地域研究センター(UTCMES)公開シンポジウム、東京大学駒場キャンパス、2016.1.30

(4) 監修

菊地達也、『五つのキーワードでわかる！「イスラム教」入門』、『歴史街道』2015年4月号(324号)、79-85、88-93 頁、2015.3

(5) マスコミ

「偏見なき視点を持つ：イスラム過激派の姿」、『東京大学新聞』、東京大学新聞社、2015.2.10

3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

非常勤講師、神田外語大学外国語学部、「宗教学 IA/IB」、2014.4～2014.9、2015.4～2015.9

非常勤講師、慶應義塾大学文学部、「哲学倫理学特殊 IC/IIC」、2014.4～2016.3

(2) 学会

国内、日本イスラム協会、理事、2014.6～、『イスラム世界』編集委員長、2016.3～

国内、日本オリエント学会、運営委員、2014.6～

国内、日本中東学会、評議員、2015.4～

国内、日本宗教学会、学術雑誌編集委員、2015.9～

(3) 学外組織(学協会、省庁を除く)委員・役員

教育機関、早稲田大学イスラーム地域研究機構共同利用・共同拠点運営委員会、委員、2014.4～2016.3